

地域に密着した介護サービスを提供する、
伊野本陣の家族便り
伊野本陣は、い〜のお〜
2月号

平成30年2月8日発行 第99号



とんどさん

1月11日（木）前庭で『とんどさん』を行い煙を浴びながら今年1年の無病息災を祈りました。寒い中でしたが、すいとんを食べ身体も温まりました。



新年会&意見交換会

1月21日（日）初めての試みとして開催いたしました。詳しい内容は裏面をご覧ください。



2月の行事予定

節分・恵方巻き作り

今年の恵方は
南南東です！



3月の行事予定

ひなまつり会



*** 新年の貼り絵制作 ***



レクリエーションでは、身体を動かす他にも、貼り絵をしたり、工作をしたり、手先を使うものも多く取り入れています。同じ材料を使っても、皆さんそれぞれ個性があふれ素敵な作品ができあがっています
♪♪♪

*** タイル工作 ***



*** くるみボタン制作 ***



発行 有限会社 伊野本陣

- ・小規模多機能型居宅介護 もくせい
- ・グループホーム やまもも
- ・デイサービス(認知症対応型) つばき

ところ 〒691-0073 出雲市美野町504

(平田中心街から車で10分。一畑電鉄伊野灘駅から徒歩1分)

電話 (0853)67-9180

FAX (0853)67-9181

ホームページ <http://inohonjin.jp/> (または「伊野本陣」で検索)

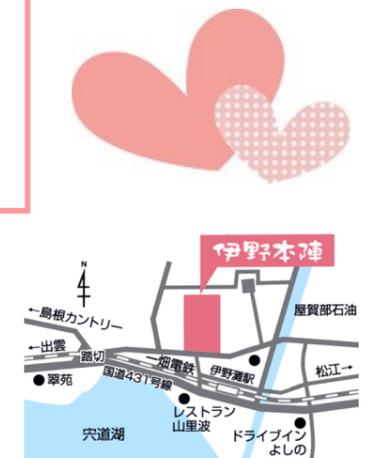
Eメール inohonjin@hit-5.net

経営理念

安心と尊厳の
ある生活を
営むことの支援

ケア理念

共に喜び
共に楽しみ
共に笑って
共に過ごす



在宅で支える家族意見交換会報告

毎朝起きて窓から外をのぞき、雪がどれくらいあるのか……。心配しながら出勤しています。1月に入り雪が案外積もる日が多く見られました。

この度、初めての試みといたしまして、在宅で抱える家族の会を計画し開催いたしました。平成30年1月21日（日）伊野本陣にて、認知症対応型通所介護デイサービスつばき、小規模多機能型居宅介護施設もくせいの利用者ご家族様を対象に行いました。この会にご家族様より多数いただきましたご意見をもとに行いました。通所サービスをご利用のご家族様は、伊野本陣へなかなか来られる事もなく、どういう所でどういう過ごし方をされているか分からなかったり、どのような食事をいつも食べているか分からないので見てみたい介護されている職員の方と話をしてみたいというご意見がありました。第1回目でしたので参加人数は少人数ではありましたが、貴重なご意見を頂きましたのでご報告いたします。

伊野本陣のサービスへ変わるきっかけと変わるまでの思い

◇通所サービスを他事業所で利用していたが、行きたくないと家から出なくなったため、訪問サービスのみを利用していた。本人がなかなかヘルパーさんを受け入れられず、入浴も出来ない状況が続いた。そんな時小規模多機能のサービスを紹介して頂き利用するようになった。

今は通所と、宿泊サービス、訪問サービスを組み合わせ出掛ける様になった。(娘様)

◇認知症対応型通所介護つばきを利用していたが、認知症が進行し、通所サービスだけではなかなか在宅での生活が難しくなってきたため、宿泊出来る小規模多機能のサービスへ変更した。

今は定期的な宿泊サービスを入れながら、また突発的な宿泊もしながら継続している。(息子様)

◇他事業所の通所サービスを利用していたが、集団での対応に行きたくないと言い出した。夫の送り迎えで行ってはいたが、本人も限界が来て家に閉じこもりがちになってしまった。夫の病気も発症し、都会に住む娘、息子宅に行っていたが慣れない環境もあり認知症状も進行し平田へ帰って来た。布団から出ずそんな時に小規模多機能のサービスを紹介して頂いた。それまで、物取られ妄想や被害妄想、作話も沢山あり、老老介護で自分自身が疲れ切ってしまったことも沢山あった。いつまでこの生活が続くのか……。そう考えると本当に死んでしまった方が楽だと考えてしまう事も沢山あった。やるせない気持ちでいっぱいになっていた。認知症と言う病気を理解していたつもりではあったが、イライラしてしまいきつい事を言っている事もあった。

今は週3回のデイサービスと週1回の訪問サービスを受けている。空き待ちをして本人が出掛けたい日に掛ける日もある。(夫86歳)

◇デイサービスつばきを利用していたが、決められた曜日に出掛ける事がお婆さんには大変な事だった。迎えに来られても出掛けるまでに1時間かかっていた。日々の心身状況に合わせて柔軟に対応してもらえ小規模多機能に変更した。(孫様)

◇連れ合いの病気が発覚し、松江のアパートで家族の都合で暮らしてもらった。それが始まりで大きな環境の変化にて認知症状が見られ始めた。その後娘の事も分からなくなったり、攻撃的な性格も見られていた。少し距離をおき介護していたが、お爺さんが他界し独居となった為、半年一緒に生活していたが、自分にも家庭もありお婆さんだけに時間をかける事は難しかった。今までは介護サービスを何も使っておらず、訪問から開始できる小規模多機能サービスを利用し始めた。(娘様)

在宅で困っている事

Q: 会話が全くなくなってしまった。自分から話しかける事をしなくなってきた。本陣の職員さんにはとても良い対応をしているが、家に帰ると全くそんなことはない。

A: ご家族と他人との区別をしっかりとされていますね。本人の中でも自分は何でもできるというプライドもきつとあり、ご家族に手を借りなくても出来る、という気持ちもあるんだと思います。

Q: 誰も触っていないのにも関わらず、「あんたが触った」「何処にやったの」「ないじゃない」そういう言い合いになると分かっている、理解しているがつつい怒鳴ってしまう。そうすると口を利かなくなり無言になり、何を言っても話を聞かなくなる。

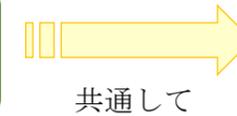
A: そうですね。分かっているけど……。つつい……。対応方法も病気の理解もしっかりされて頭が下がります。ご家族様もステップがあり一つづつ超えて行かれていますね。私たちはケアの中で説得はせず、納得していただける方法を見つけていくようにしています。

Q: 昔の記憶でお爺さんはストップしてしまい、孫の成長が子供の頃で止まっています。成長した孫はすぐそこにも、「こんなに大きくない。」と話をします。お爺さんの探している孫は帰ってこないのに、どう対応しているのか分からない事がある。

A: お爺さんの記憶はご自分が若かった頃で止まっているんでしょうね。おじいさんに「ここに居るがね」等と言っても納得はされないので、お爺さんの話に合わせ付き合う事が一番だとは思っています。お爺さんの世界へ入り話を合わせてデイサービスでは支援しています。

皆さんが言われた事の中に……

介護者が怒ると



黙る・無視する・逃げる

参加者の声

- ・こういう話し合いをずっとしたかったです。同じ立場の方と話をする機会がありとても良い機会になったと思う。また、施設内の見学も出来て良かった。スタッフの方の思いや認知症介護に対するケアへの思いが知れて安心して預ける事が出来ると思えました。
- ・毎日一人で抱えている為、老老介護の中で、介護者の気持ちのやり場となった。介護者も気持ちのやり場があり、一呼吸置き在宅介護が出来ると思った。話す場がありとてもよかった。
- ・食事を始めて食べたが、とても美味しかった。
- ・自宅でも作ってみたい珍しい献立もあり、レシピが知りたいと思った。
- ・いつもはノートでの話で情報交換しているが、ゆっくりと話を聞くことが出来、とても分かりやすかった。
- ・定期的な開催がして頂けると、情報共有しながら、また一緒に頑張っって認知症ケアをしていける励みにもつながる気がしますので、継続して欲しい。

ご参加いただきました皆様、大変お忙しい所ありがとうございました。

次回また、多くのご家族様のご参加をお待ちしております。